

1ページから続く  
つきましては、6月以降の議会に  
提案しご審議頂くこととなります  
て、述べてさせていただきます。

### (1) 安心して暮らせる市民生活の

#### 充実を図るために

町田市の高齢者人口は、本年1月1日現在で15%を超えました。これを基にした将来人口の推計では、2008年には20%に達すると見込まれ、着実に高齢社会へと突き進んでいます。

昨年4月から始まった介護保険は、本市の場合、事前の取り組みが早かったお陰で、大きな混乱もなく、順調な制度導入が図られました。この結果介護認定申請者数、認定率ともに周辺各市を上回る高い数値となっています。これは本市の施策メニューの豊富さとともに、それを支える熱心な市民やグループの層の厚さによるものと感謝しております。

しかし、介護保険制度設立の狙いである在宅介護の充実という面から見ると、まだ施設介護を望む方も多く、多様なメニューの整備は今後とも行政に求められた重要な課題であると認識しております。

一方、特別養護老人ホームについては、本年1月に竣工した「美蓉園」の増床と「美郷」の増設工事、新設法人（仮称）悠々園の建設工事が始まり、完成後は市内に12カ所計1,038床が確保されます。

次に、障害者の小規模通所作業所等の法人化支援では、これまで無認可施設であったベロ、万苑が社会福祉法人「地の星」として今月から施設整備に入ります。同じく社会福祉法人すみれ福祉会

が、二ノズセンター「花の家」の第二号施設を鶴川地区に計画しています。その用地取得と施設整備のための支援を行います。この施設は、知的障害者通所更生・授産施設で、町田市在住の重度重複障害者の医療的ケアを必要とする方も通所出来る施設となります。

また、本年4月から精神保健福祉事務の内部が都から市へ移管されます。内容としては、精神保健福祉手帳の交付、通院医療費の支払い・社会復帰施設の利用に関する相談などの業務が、市の窓口で受け付けできるようになり、当事者及び家族の方々のサービス向上につながるものと思われます。

これにあわせて、さびあ生活支援センターを開設しました。この施設は、精神障害者及びその家族の方々の日常的な憩いの場、仲間づくりや情報交換、電話相談、生活指導、社会生活復帰のための生活訓練などをNPO法人に委託して行います。

誰もが当たり前な生活が享受できるためには、まず身の回りの様々な障害を取り除くことが何よりも重要です。そこで市では、公共交通機関のバリアフリー化を進めてまいりました。玉川学園駅前

と成瀬駅については、新年度中にエレベーター（成瀬駅にはエスカレーターも）設置工事が着工予定となっております。また相原駅は、自由通路に伴う駅舎の改良に合わせて設置されます。これで、市の全ての鉄道駅舎にエレベーターが設置されバリアフリーの第一歩が完了します。

また、元日本国籍を有していた保育園入園待機児解消を図るため、民間保育園の施設整備を支援してまいります。このほか、保育園「保園」の新規開園と、「ひかりの子保育園」の増設が完了しました。また、14年度の事業を進めている「仮称」上三輪保育園の増設と「仮称」上三輪保育園の増設工事も度内には完了し、待機児解消が期待されます。今後も保育園の創設を中心に受け入れ枠の拡大に努めてまいります。

一方、益々加速する核家族化により子育てに悩みと不安を抱える親が増え、幼児に対する虐待等が大きな社会問題になっております。そのため、「子供家庭支援センター」を開設し、子育てを巡る様々な相談や、児童虐待、ドメスティック・バイオレンス（D.V.）等複雑なケースにも迅速、的確且つ総合的に対応し、また子育てグループの支援やショートステイ等のサービスの提供及び、地域における子育て関係機関とのネットワークの核としての機能も果たしてまいります。

保護者が病気や社会活動等で、子どもの養育が一次的に困難になった時に、短期間（一週間程度）お子さんを預かるショートステイや、保護者が仕事の都合等で帰宅が夜間に及ぶ場合など、夜10時ま

台湾出身者及び朝鮮半島出身者で出入管理特例法（第3条）に定める別居居住者の方々（現在75名）の方々の、約45名予定）は、現在無年金状態に置かれています。そこで市の独自施策として、新年度から町田市にお住まいの、この条件に適合する方々の生活支援の一部として、給付金の支給を始めます。

開設します。次に、教育施設の整備として小中学校の大規模改修・耐震補強工事は必要校50校中、14年度の事業を含めると24校が完了しました。また、相原・小山区画整理地内の小学校の新設も、14年度地質調査や設計を行います。早期着工に向けた鶴川中学校は、教科・教室（移動）型としては、市内で初めての学校で、学校運営とその成果が期待されます。また、地域開放の施設も併設されております。



「デイサービス三輪」は、新設の（仮称）「三輪センター」に併設されています



竣工間近の「デイサービス標名坂」

### (2) 子育て環境の整備と次代を担う 子供たちの健やかな成長を支援するために

で預かるトワイライトステイを、「ハット博士記念ホーム」に委託して始めます。このほか、保育園児が病気に罹り全快するまで、何日も仕事を休まなければならないことは大きな悩みです。そこで病気の早い段階からの預け入れを望む保護者が多いことから、4月から新たに病室中でも預かってもらえる、医療機関に併設した保育室

また、学校図書室の充実事業として、全中学校に図書指導員を配置します。これで全小・中学校の図書指導員の配置が完了します。次に、懸案の子どもセンター2号館については、鶴川中学校の移転跡地に建設のための設計に取り

と、市民の参加をいいただき、環境マスタープラン（基本計画・行動指針）の策定を進めておられ、まもなく皆様にお示し出来るものと思っております。この計画は、市民・事業者・行政が一体となって、循環型社会の形成を目指し、それぞれが具体的な目標をもって取り組むためのものです。一人ひとりが積み重ねれば大きな力になります。

とりわけごみ問題が大きな課題で、ごみの発生抑制の推進が一番重要なテーマとなっております。そのためは市民の方々に、一層細かなごみの分別と再資源化による焼却量の削減のための協力を願うしなくてはなりません。特に、現在焼却しているプラスチックは、資源の有効活用、タイオキシン対策、地球温暖化防止対策、最終処分場の延命策等の面からも早急に取り組みが求められています。

現在、南地区で廃プラスチック分別収集のモデル実験が行われていますが、本年中に本格的な稼働に向けての準備を進めてまいります。エリアとしては、南地区の横浜線以南を対象と考えております。

また、市営駐車場の定期契約車両のうち、国の定める低公害車にお乗りの方の利用料について、割引制度を設け環境に優しい車両の普及に努めます。ディーゼルの規制については、都の指針により5年先までに保有車両の5%をこれに切り替えるよう目標値が定められています。



建設中の「玉川さくら保育園」。待機児解消のため市では保育園整備を進めています

と考慮しております。

### (3) 良好な地球環境を

#### 次の世代に引き継ぐために

21世紀は環境の世紀ともいわれ、地球規模での環境問題解決への取り組みは、今地球に生きる私たちの責務だと思えます。

環境問題は、非常に多様な要因が重なり合い、難しい複雑な問題を内包しています。地球温暖化やごみ問題が緊急に取り組む課題となっております。市では昨年施行された環境基本条例に基づき、現在市民の参加をいただき、環境マスタープラン（基本計画・行動指針）の策定を進めておられ、まもなく皆様にお示し出来るものと思っております。この計画は、市民・事業者・行政が一体となって、循環型社会の形成を目指し、それぞれが具体的な目標をもって取り組むためのものです。一人ひとりが積み重ねれば大きな力になります。



南地区では廃プラスチック分別収集のモデル実験が行われています

また、市営駐車場の定期契約車両のうち、国の定める低公害車にお乗りの方の利用料について、割引制度を設け環境に優しい車両の普及に努めます。ディーゼルの規制については、都の指針により5年先までに保有車両の5%をこれに切り替えるよう目標値が定められています。

また、市営駐車場の定期契約車両のうち、国の定める低公害車にお乗りの方の利用料について、割引制度を設け環境に優しい車両の普及に努めます。ディーゼルの規制については、都の指針により5年先までに保有車両の5%をこれに切り替えるよう目標値が定められています。

また、市営駐車場の定期契約車両のうち、国の定める低公害車にお乗りの方の利用料について、割引制度を設け環境に優しい車両の普及に努めます。ディーゼルの規制については、都の指針により5年先までに保有車両の5%をこれに切り替えるよう目標値が定められています。

また、市営駐車場の定期契約車両のうち、国の定める低公害車にお乗りの方の利用料について、割引制度を設け環境に優しい車両の普及に努めます。ディーゼルの規制については、都の指針により5年先までに保有車両の5%をこれに切り替えるよう目標値が定められています。

また、市営駐車場の定期契約車両のうち、国の定める低公害車にお乗りの方の利用料について、割引制度を設け環境に優しい車両の普及に努めます。ディーゼルの規制については、都の指針により5年先までに保有車両の5%をこれに切り替えるよう目標値が定められています。